

「YTT(特定非営利活動法人 四日市の交通と街づくりを考える会)との探究学習」(第2回)

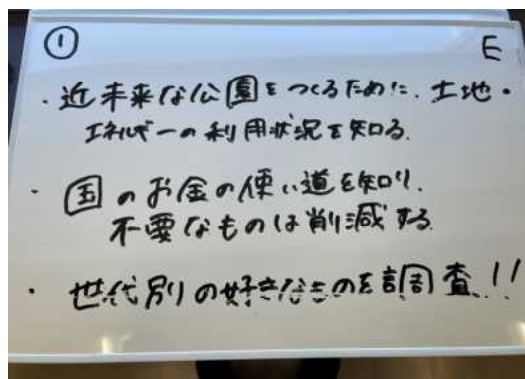
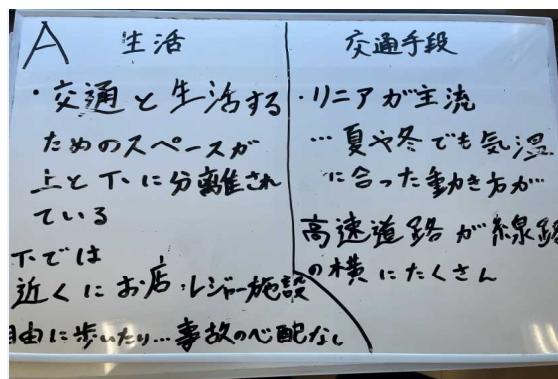
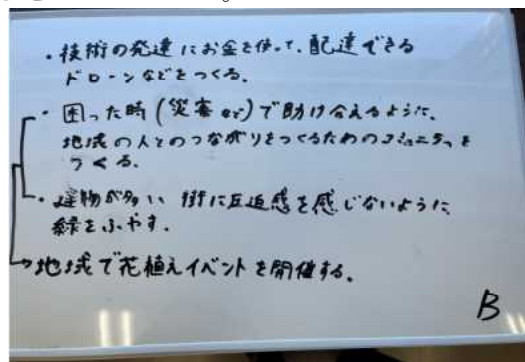
7/2(土)、本校図書館にて第2回目の「YTT(四日市の交通と街づくりを考える会)」の探究学習が行われました。前回に引き続き、YTTの副理事長である宗像基浩さんを講師にお招きし、お話を伺いました。また今回は、四日市市役所都市計画課公共交通推進室室長の藤田貴さんも来てくださりました。

今回は、「未来の四日市市を考えてみよう」をテーマに、自分達が考えた四日市市の未来の街づくりについて「高校生の意見書」として提言しました。

まずはじめに、前回学習した四日市市の現状や課題について振り返り、それらを皆で共有した上で、「2040年に自分がどんな暮らしをしたいのか」、そして「その暮らしを実現する為にどんな街を創りたいか」ということを考えました。



生徒達は活発に意見を交換し、理想の街の在り方と公共交通との繋がりを考えながら未来の四日市市をデザインしました。続いて、その未来の街を実現する為に、自分がこれからどのように行動していくべきなのか、具体的な取り組みを考察し、グループごとにそれらをまとめました。



最後のプレゼンテーションでは、公共交通の整備によって、より効率的な生活を生み出すことや、ドローンによる輸送サービスの充実、クリーンエネルギーを利用した全世代が楽しめる近未来的公園の設置、などの意見が挙げられました。また理想の街づくりを実現するために自分ができる行動として、地域の清掃ボランティア活動に継続して参加する、選挙の際は必ず投票に行く、といった意見もありました。

生徒達は2回にわたる探究学習において、「街づくり」という視点を通して、自己と社会の関わりから課題を見出し、よりよい社会を実現するため、主体的に行動しようとする意欲を高めることができました。また、グループワークやプレゼンテーションの際には講師の宗像さんより、思考の手順や、相手に伝わる話し方の構成について適宜アドバイスを頂きました。生徒達は、普段なかなか接する機会のない社会人、それも社会の課題に向き合う、熱意ある大人と関わることで大きな刺激を受けることができました。

